

1月23日 ろう教育部門⑩ 「難聴通級指導教室」について

県立新潟よつば学園には難聴通級指導教室が設置されています。今年度新発田市に設置されるまでは、下越で唯一の難聴通級指導教室でした。

当教室は平成13年度に新潟聾学校内に設置されて以降、今年度で24年目を迎えます。当学級は下越全域の難聴小、中学生及び新潟市の難聴中学生が通級措置の対象です。既に言語通級指導教室を利用している方や、特別支援学級在籍難聴児の方の措置はできませんが、教育相談としておいていただくことができます。

難聴通級指導教室とは、難聴の診断を受けているお子さんが地域の小中学校に通いながら難聴の障害に起因する学習上や成長過程に起きうる諸問題に対応するためのスキルを学ぶところです。成長段階に応じて自らの難聴状態を知り、心理的支援を受け、社会参加に役立つ情報を学ぶところです。

当教室では近隣市町の依頼を受けて担当が児童生徒の在籍校を訪問して行う定期相談や指導も行います。現在は小中学生11名が月に1～3回ずつ当教室を利用しています。聖籠、阿賀野、五泉地域の5校に毎月出向いています。利用するお子さんには、人工内耳の重度の方もいますが、軽度難聴や片耳難聴、補聴器を常時着用しない難聴児もいます。

当教室の特徴は対象地域が広く、学齢幅も広いことです。最近は高校からの教育相談も増えています。相談業務として高校に出向いたり、各市の小中学校に出向いたりする活動は、支援先で出会う様々な役職の方々への難聴児理解の啓発活動にもなっています。これは県立新潟よつば学園内の通級だから行いやすい活動でもあります。

通級での支援内容は発音・聴能・言語指導、難聴に関連した学びにくさを支援するための学習指導、コミュニケーションに関する指導、難聴理解の学習や教育相談など、広範囲に及びます。指導形態は個別指導が中心です。通級教室内の先輩・後輩と一緒に授業もしています。教室掲示板を利用した作文紹介の間接的な交流も行っています。大学病院や地域の病院等の医療専門機関との連携も行っています。

地域で学ぶ難聴児はいつも一定数います。下越地区でのライフステージごとの適切な支援と情報発信ができるネットワーク作りに努めています。